

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域での講演会の開催など、これまで事業所で培ってきた経験を発信する機会が少ない。認知症ケアや地域包括ケアの拠点としてさらに地域に貢献できるシステムを構築する。	認知症ケアについて理解を深められるように地域へ発信する機会を設ける。	催し物への参加だけではなく、地域の老人会への参加や地域の会議に参加をさせていただき、地域交流の中から認知症への理解を深めていく。運営推進会議を基盤として講演会等を行い地域に発信できるようにしていく。	6カ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践として身体拘束適正化検討対策委員会を設置し施設内の現状を確認し身体拘束をしないケアを再確認しているが介護職員の身体拘束へのリスクまで理解を深めていく。	引き続き定期的な身体拘束ゼロに向けて勉強会を開催し、新人職員や経験の浅い職員への身体拘束について正しい理解を深める。	新人研修の際には必ず当施設の身体拘束についてのマニュアルを理解する。また、経験の長い職員についても再度勉強会を重ねて身体拘束への理解を再確認する。	3カ月
3	33	開設以来、多くの看取りの実績があり高く評価頂き、質の良い看取り介護への取り組みが出来ているが、さらに深く看取り支援の質の向上を図る。	定期的に看取り介護への勉強会を開催し、看取り介護の質の向上を図る。	定期的に勉強会を開催し、看取り介護を実施する際の不安（本人への関わり方・家族支援・医療連携等）や取り組みたい事柄を介護職員と意見交換を行い、家族支援や医療連携等の質の向上に繋げていく。	12カ月
4	35	年2回火災、地震、水害等総合的な避難訓練を施しているが、同日に全ての内容を訓練をするのではなく、より内容に特化した訓練の開催を検討する。	災害と火災の両面での訓練を予定し実施していく。火災訓練では2階3階の各ユニットでの生活を鑑み避難経路の確認をしながら引き続き訓練をする。	災害対策として、年2回火災、地震、水害等を含めた総合的な訓練を行っているが、より内容を分かりやすくする為に訓練の有り方を検討する。同日に全ての訓練を行うのではなく、より内容に特化した訓練を検討し実施する。	12カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)